

豊中市南部地域の学校跡地に関する個別活用計画の新旧対照表

(赤字の箇所は、改訂部分を示す。)

( 現 行 )

(省略)

5. 学校跡地活用の前提条件について

5. 1 学校再編のスケジュール

学校再編のスケジュールに沿って、各学校跡地の個別活用計画を策定する。

		R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
計画等	個別活用計画改訂	→ 應次利活用				
	(庄内さくら学園エリア)	(庄内さくら学園エリア)				
計画等	個別活用計画策定	→ 應次利活用				
	(庄内よつば学園エリア)	(庄内よつば学園エリア)				
学校再編・跡地活用 の動き	庄内さくら学園エリア					
	旧庄内小	● 庄内さくら学園開校				
	旧第六中					
	旧島田小	公募(民間利用) → 供用準備・開始(民間利用)				
		学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校) 設置準備 → ●開校				
	旧さくら学園中 (旧第十中)	公募準備(民間利用) → 公募(民間利用) → 供用準備・開始(民間利用)				
	旧野田小	公募準備(民間利用・公共利用) → 公募(民間利用・公共利用) → 供用準備・開始(民間利用・公共利用)				
	庄内よつば学園エリア					
	千成小	設置準備 → ●庄内よつば学園開校				
	第七中	大阪府立支援学校 設置準備 → ●開校				
学校再編・跡地活用 の動き	庄内西小	利活用の検討・準備 → 暫定利用(体育館・グラウンド)				
	庄内南小	千成小を庄内南小に移設 → 利活用の検討・準備				

14

( 改 正 案 )

(省略)

5. 学校跡地活用の前提条件について

5. 1 学校再編のスケジュール

学校再編のスケジュールに沿って、各学校跡地の個別活用計画を策定する。

		R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)
計画等	個別活用計画改訂	→ 應次利活用					
	(庄内さくら学園エリア)	(庄内さくら学園エリア)					
計画等	個別活用計画策定	→ 應次利活用					
	(庄内よつば学園エリア)	(庄内よつば学園エリア)					
学校再編・跡地活用 の動き	庄内さくら学園エリア						
	旧庄内小	● 庄内さくら学園開校					
	旧第六中						
	旧島田小	公募(民間利用) → 供用準備・開始(民間利用)					
		学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校) 設置準備 → ●開校					
	旧さくら学園中 (旧第十中)	公募準備(民間利用) → 公募(民間利用) → 供用準備・開始(民間利用)					
	旧野田小	公募準備(民間利用・公共利用) → 公募(民間利用・公共利用) → 供用準備・開始(民間利用・公共利用)					
	庄内よつば学園エリア						
	千成小	設置準備 → ●庄内よつば学園開校					
	第七中	大阪府立支援学校 設置準備 → ●開校					
学校再編・跡地活用 の動き	庄内西小	利活用の検討 → 公募及び供用準備・開始(民間利用・公共利用)					
	庄内南小	千成小を庄内南小に移設 → 利活用の検討 → 供用準備・開始(公共利用)					

14

( 現 行 )

(省略)

5. 学校跡地活用の前提条件について

5. 2 各学校跡地について

5. 2. 5 庄内西小学校

**校舎・土地活用の前提条件**

- ・用途地域：準工業地域、建蔽率60%、容積率200%
- ・建築基準法第22条区域
- ・庄内・豊南町地区防災街区整備地区計画区域
- ・阪急庄内駅から南西へ約2,200m
- ・阪急神崎川駅から北西へ約1,400m
- ・定期借地または売却
- ・校舎を解体または売却する

**校舎・土地活用の考え方**

【校舎・土地】

○庄内よつば学園建設に際し、公共施設等適正管理推進事業債を活用した。その起債の条件として、本校舎または庄内南小学校校舎を、解体または売却する必要がある。

【活用方法】

- 公共及び民間の併用を基本として利活用を検討する。
- 災害時の避難所機能を維持する。



—公共・民間利用

19

( 改 正 案 )

(省略)

5. 学校跡地活用の前提条件について

5. 2 各学校跡地について

5. 2. 5 庄内西小学校

**校舎・土地活用の前提条件**

- ・用途地域：準工業地域、建蔽率60%、容積率200%
- ・建築基準法第22条区域
- ・庄内・豊南町地区防災街区整備地区計画区域
- ・阪急庄内駅から南西へ約2,200m
- ・阪急神崎川駅から北西へ約1,400m
- ・敷地の一部を公共利用とし、残りは民間利用とする
- ・民間利用部分は、定期借地または売却
- ・校舎を解体または売却する

**校舎・土地活用の考え方**

【校舎・土地】

○庄内よつば学園建設に際し、公共施設等適正管理推進事業債を活用した。その起債の条件として、本校舎または庄内南小学校校舎を、解体または売却する必要がある。

【活用方法】

- 公共利用として、災害時の避難所機能を有するコミュニティ拠点施設（屋内スポーツも可）、通学バス乗降場（庄内よつば学園児童用）を整備する。
- 民間利用として、地域の活性化に資する施設を誘致する。



—公共・民間利用

19

( 現 行 )

5. 学校跡地活用前提条件について

5.2 各学校跡地について

5.2.6 庄内南小学校

校舎・土地活用前提条件

- ・用途地域：準工業地域、建蔽率60%、容積率200%
- ・建築基準法第22条区域
- ・庄内・豊南町地区防災街区整備地区計画区域
- ・阪急庄内駅から南へ約1,300m
- ・阪急神崎川駅から北へ約1,400m
- ・定期借地または売却
- ・校舎を解体または売却する

校舎・土地活用の考え方

【校舎・土地】

- 庄内よつば学園建設に際し、公共施設等適正管理推進事業債を活用した。その起債の条件として、本校舎または庄内西小学校校舎を、解体または売却する必要がある。
- 民地と市有地が混在する敷地であることから、跡地の利活用に向け、複数の地権者との情報共有、協議・調整が必要となる。
- 協議・調整の内容を踏まえ土地活用を検討する。

【活用方法】

- 公共及び民間の併用を基本として利活用を検討する。
- 災害時の避難所機能を維持する。



—公共・民間利用

20

( 改 正 案 )

5. 学校跡地活用前提条件について

5.2 各学校跡地について

5.2.6 庄内南小学校

校舎・土地活用前提条件

- ・用途地域：準工業地域、建蔽率60%、容積率200%
- ・建築基準法第22条区域
- ・庄内・豊南町地区防災街区整備地区計画区域
- ・阪急庄内駅から南へ約1,300m
- ・阪急神崎川駅から北へ約1,400m
- ・市有地上にある校舎を残置する

校舎・土地活用の考え方

【校舎・土地】

- 庄内よつば学園建設に際し、公共施設等適正管理推進事業債を活用した。その起債の条件として、本校舎または庄内西小学校校舎を、解体または売却する必要がある。

- 民地については、地権者に更地返還する

- 市有地については、校舎を残置し公共利用する。

【活用方法】

- 残置校舎を文化財の調査・収蔵等のスペースとして利活用する
- 災害時の避難所機能を有するコミュニティ拠点施設及び市の事務所機能をもち施設を新設する。



—公共・民間利用

20